

変形労働制ではなく、せんせいふやそう!

止めよう! 変形労働制 15

「止めよう! 変形労働制」ニュース No.15

全北海道教職員組合

2019.11.12

11月9日 変形労働導入反対北海道緊急集会

学校への変形労働制導入を許さない! 
各地で声を上げ続け、状況を変えよう!!

11月9日(土)、全道合研1日目終了後の夜に、公立学校への変形労働導入に反対する北海道緊急集会を開催しました。約130名が参加し、学校への変形労働導入を許さないとの声を各地で大きく広げていくことが確認されました。

集会では、道高教組菱木書記長が変形労働導入の問題点を報告、全釧路鈴木健生権部長が学校の実態について現場発言、道労連出口事務局長が民間労働組合の立場から発言し、道教組斎藤書記長が行動提起を行いました。



●全釧路鈴木健生権部長による現場発言

全釧路女性部アンケートの結果、これ以上仕事が増えてさらなる長時間労働になるのはやめてほしいとの切実な声が多く寄せられた。変形労働導入について「反対」が41%、「どちらともいえない」が48%だったが、自分の職場で対話した上でアンケートをとったところ、「反対」が72.4%だった。職場で対話し、制度の問題点を伝えていくことが大事。



●道労連出口事務局長による、民間労組の立場からの発言

「残業しろとは言っていない。能力の問題。」いわゆる「ブラック企業」における残業代未払いの労働相談で、経営者が実際に述べた言葉だ。学校の中でも、似たようなワード、フレーズがあるのでは。民間職場で導入されている実態を見ると、通常の労働時間制よりも長時間労働が生じている。「いや、教員を増やさなきゃダメでしょ」という認識が、社会的な合意として広がり始めている。

